

流山市議会だより

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1-1-1 議会事務局内
電話04-7150-6099(直通)FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyama.chiba.jp

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の年4回発行です。ホームページアドレス <https://www.nagareyamagikai.jp/>

令和6年度決算を認定 「医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション」 推進を求める意見書について」を全会一致で可決(6・8面)



写真コンクール入賞作品

宮本 利子さん撮影の「初秋の野辺」(撮影場所：思井)

撮影の背景 小高い丘の畑の脇道に、群れて咲く彼岸花に目が留まり、畑の向こうの青空との対照が爽やかな印象で、シャッターを押しました。

令和7年第3回定例会概要

9月4日の開会日には、市長から「令和6年度流山市一般会計歳入歳出決算認定について」を含む18件の議案が提出され、提案理由の説明が行われたほか、4件の報告がありました。

(要旨8面)
市政に関する一般質問は、9月9日から9月12日までの4日間にわたり、20人の議員が登壇し行われました。

(要旨3～6面)

9月12日の一般質問終了後には、市長から「教育委員会委員の任命について」および「流山市手数料条例の一部を改正す

る条例の制定について」の2件の追加議案が提出され、提案理由説明の後、「教育委員会委員の任命について」の採決が行われたほか、「流山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」の追加議案を含む、議案19件および陳情10件が各常任委員会および決算審査特別委員会に付託されました。

(要旨2・3・7・8面)

10月8日の閉会日には、各常任委員会および決算審査特別委員会の委員長報告に対する質疑、議案などに対する討論、採決が行われました。また、

クローズアップ

議員研修会を開催しました

流山市議会では、毎年専門家をお招きし、「議員研修会」を開催しています。これは、流山市議会基本条例第19条の規定に基づき、議員の資質・政策形成・立案能力の向上を図るために実施しているものです。

今年度第1回目の議員研修会を、令和7年10月17日に議場で開催しました。事前にお申し込みいただいた市民の皆さまや市職員の方々にもご参加いただき、ありがとうございました。

今回の研修会は、日本



議員研修会を開催します

～どなたでもご参加いただけます～

開催日：令和8年1月21日(水)
時間：午前10時～正午
場所：流山市役所第1庁舎4階議場
テーマ：「公と民が手をつなぎ、世界に羽ばたくために
一流山が持つべき視座」
講師：キッコーマン株式会社
代表取締役会長 堀切 功章 氏

参加費：無料
定員：20名

【申し込み方法】
議会事務局へ電話でお申し込みください。
TEL：04-7150-6099(直通)
議員研修会の詳細はこちらをご覧ください。
(市議会ホームページへ)→



議員からは、陳情が採択されたことに伴って提出された「物価高騰等に見合った医療機関への支援を国へ求める意見書につ

いて」を含む10件の発議が提出され、提案理由説明、質疑、討論、採決が行われました。
(要旨6・8面)

令和6年度一般会計決算 35項目の「議会共通指摘要望」を提出



決算審査特別委員会の様子

令和6年度一般会計歳入歳出決算認定については、6人で構成する決算審査特別委員会が9月12日に設置され、24日、25日、26日および30日の4日間にわたり審査されました。同特別委員会で審査された一般会計決算認定議案は、定例会最終日（10月8日）の本会議において賛成多数をもって認定されました。

本会議における一般会計決算認定議案に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

反対する理由は、①物価高対策が不十分です。国の取り組みに対し「十分ではない」と批判する市長も、市単独の物価高対策費は、市民一人当たり116円（市民税の0.07%）しかなく、近隣市比較でも少なすぎます。②市税の大幅増加という好条件を活かせば、フリースクールに通う児童生徒への通学支援、就学援助制度における受給基準の引き上げなどに加え、深刻な赤字を抱える病院食への補助を合計2千万円余りで実現できるが、要望はあっても実施し

に中止・是正すべきです。せんでした。③物価高対策や市民要望よりも、財政調整積立基金への積み増し（1億7千万円）を優先し、25億5千万円もの不用額（予算使い残り）をつくる背景は、市長肝いり事業へ集中投資をするためです。「いざきロード（510m）」に6億2千万円、白みりんミュージアム建設など観光事業に3年間で11億2千万円、1軒の古民家再生に2億円、流山版DMOへの公費投入は4年間で2億8千万円など、税金のムダ使い・私物化は直ちに中止・是正すべきです。

反対

日本共産党

各会派等の意見表明

決算審査特別委員会 ホームページのご案内

決算審査特別委員会の委員長報告・議決結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。



流山市議会
決算審査特別委員会

検索

【決算審査特別委員会】			
委員長	坂巻 儀一	委員	藤井 俊行
副委員長	岡 明彦	委員	海老原 功一
委員	川本 大岳	委員	おだぎり たかし

議会共通指摘要望（全35項目）

令和6年度一般会計決算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。決算の詳細は、今後発行される『広報ながれやま』をご覧ください。

政策	共通指摘要望	政策	共通指摘要望	
安心・安全で快適に暮らせるまち	(1) 救急救命士養成事業について、さらなる人員確保と予算の増額を図られたい。	にぎ賑わいと魅力のあるまち	(1) 流山市事業者グループ提案型売上アッププロジェクト応援事業について、プレゼンや採択基準の見直しを実施し、応募促進向けさらなる周知に努められたい。	
	(2) 北消防署及び東消防署については、計画的な大規模改修を確実に実施するとともに、適正な執務スペースや業務量に応じた会議室の面積確保はもとより、仮眠室の個室化等、職員のより良い職場環境を確保されたい。		(2) 長期化する景気低迷及び人件費・物価高騰により経営環境が厳しさを増している市内中小企業に対し、景気動向及び実勢価格を踏まえた機動的かつ効果的な支援策を講じられたい。	
	(3) 総務省の推進する防災行政無線のデジタル化が、流山市にとって不要であると判断する根拠を示されたい。	誰もが自分らしく暮らせるまち	(1) 地域包括支援センターについては、社会経済情勢を反映するとともに、専門的で高度な業務を確実に継承できるよう委託費を引き上げられたい。	
	(4) 防災行政無線の早急なるデジタル化を図られたい。		(2) シルバー人材センター運営費補助事業について、地域の高齢者の生きがい創出に資する就労機会の確保促進を図られたい。	
	(5) 自治会については、さらなる自治会活動の負担軽減、参加促進の工夫を図られたい。		(1) 学童クラブの指定管理者については、安心・安全を確保しつつ負担軽減を図られたい。	
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	(1) 東葛北部医療圏の医療体制を維持するためにも、松戸市と共同し、松戸市立総合医療センターの財政支援等を国・県に求められたい。	子どもをみんなで育むまち	(2) 夏休みや放課後のこどもの居場所については、さらに充実されたい。	
	(2) 乳がん・子宮がん検診の受診率向上に向けて、令和6年度に実施した一括受診等の取り組みを継続していくとともに、受診時におけるこどもの一時預かりを実現するための体制づくり等、政策の推進を図られたい。		(3) おおたかの森児童センターについては、重層的支援体制づくりの礎となる地域の循環型支援づくりにしっかり従事されたい。	
	(3) 令和8年度に更新となる一茶双樹記念館及び社のアトリエ黎明指定管理者事業の事業者選定では公募を実施されたい。		(4) 子ども家庭課虐待・DV防止対策室については、大幅な職員増員をされたい。	
良質な住環境のなかで暮らせるまち	(1) まちをきれいにする観点に加え受動喫煙防止の観点から煙の漏れない喫煙所設置を進められたい。		体系外 (市総合計画における6本の「まちづくりの基本政策」以外に分類される事務事業)	(5) 就学援助制度の受給基準を改正するとともに、支給対象項目を拡充されたい。
	(2) 流山ぐりーんバスの高齢者割引制度について、令和6年度の同制度の利用者数や高齢者割引証の交付実績を踏まえ、制度の継続に尽力されたい。			(6) 小中学生専用なやみホットライン相談事業は、ICT等で手段が多様化し利用数も低迷していることからそのサービスのあり方を再検討されたい。
	(3) マタニティタクシー利用助成制度について、利用者数のさらなる増加や利便性向上を図るため、利用できるタクシー事業者のさらなる拡充に努められたい。	(7) 不登校児童生徒への支援について、さらなる受け入れ体制と多様な学びの場を提供されたい。		
	(4) 流山市スズメバチ駆除費助成金については、全ての申請者に対応できるようにされたい。	(8) 流山市子ども計画のさらなる推進について、支援が届きにくい家庭や孤立する子どもへの支援は関係機関との連携強化やアウトリーチによる訪問支援等の体制を構築されたい。		
	(5) 公共施設の太陽光発電設備については、屋根貸事業から自家消費することも研究されたい。	(1) 健康的な勤務時間が確保できるよう、職責者の時間外勤務等を把握し、必要な改善を図られたい。また各課からの増員要望には積極的に応えられたい。		
	(6) 夏の熱中症対策について、クーリングシェルターや涼み処を広く周知し、市民の命を守る居場所づくりをさらに拡大されたい。	(2) 退職した職員の再就職については、流山市職員の退職管理に関する条例に則り守られたい。		
	(7) 流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業など、流山市の顔となるような事業については、地元自治会・地元議員だけではなく広く流山市全体から意見を募集するように改められたい。	(3) 入札不調とならないように入札条件作成時にその内容を事前に十分に検討されたい。		
	(8) 組織横断的な体制を構築し、自然環境を可能な限り保全するため、地権者・市民・行政が協働できるような施策展開を図られたい。	(4) 公共施設劣化度診断については、一覧表を公表し、さらなる見える化を図られたい。		
	(9) みどりの維持管理事業について、狭隘な歩道の植樹帯は撤去するなど安全な歩道幅を確保されたい。	(5) 行政報告書の物理ページ（PDF）と印刷表記上のページ番号が一致するように次年度から改善されたい。		
	(10) 市管理地の雑草対策について、市民生活や景観への影響が懸念されることから関係部局で協議し、対策の強化を図られたい。			

令和6年度歳入歳出決算書は、流山市のホームページでご覧いただくことができます。

令和6年度決算 流山市 検索

賛成 流政会

課題として捉えた事業3点について、指摘・要望します。

【景観と環境美化】まちが目に覚えて美しくなることは、市民の心の在り方にも好影響を与え、「きれいだからごみを捨てない」という行動の好循環を生みます。引き続き啓発活動を推進し、必要に応じてたばこのポイ捨てなどへの罰則強化も視野に、目に見える成果の追求を要望します。

【みどりと自然】街路樹や公園管理の維持管理費を増え、中長期の財政を見通し、維持コスト

【ブランディング】「流山おたかの森駅前センター地区道路」の1工区の工事完了については、①短期・長期の課題②主目的と副次的効果③事業目的を確認しました。流山おたかの森でのブランディング効果を市内全域へ波及させるため、市内各地で実施されている賑わい創出の市民イベントへの支援を要望します。

賛成 公明党

賛成の主な理由として、

①燃油価格の高騰により経営が圧迫されていた市内運送事業者に対し、運送事業者継続支援金を交付したこと。②能登半島地震の教訓を踏まえた自然災害への備えとして、防災備蓄品の見直しを実施したこと。③希望する全ての障害児などが円滑に保育施設などに入所できるように、要配慮児童保育コンシェルジュを配置したこと。④流山ぐりーんバスの高齢者割引制度の継続をしたことや、マタニティタクシー利用助成制度の利用を促進した

ことなどが挙げられます。なお、審査を踏まえ、次の3点を要望します。①救急救命士確保事業については、市民の生命を守ることや救急救命士の負担軽減の観点から、さらなる人員確保を図ること。②要配慮者の個別避難計画の着実な推進とともに、高齢者のみの世帯の社会的孤立を防ぐため、重層的支援体制の強化を図ること。③不登校児童・生徒への支援については、さらなる受け入れ体制と多様な学びの場を提供すること。以上を強く要望して賛成とします。

賛成 流山みらい

令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について総額863億6437万4千円を審査しました。

地域住民念願の初石駅施設整備事業や江戸川台駅東口周辺地区再整備事業を進めてきたことは評価します。しかし、流山おたかの森センター地区道路（こもれびストリート）1工区が一方通行の道路へと変更されました。

総括質疑では、歩行者や近隣の意見は聴くが、利用するドライバーの意見は聴かず、全てが完成した後で意見聴くという

ことでしたが、完成後に反対意見が多かった場合の対応はどうするのですか。また税金をかけ交互通行に戻すのですか。その責任は誰が取るのですか。自治基本条例にもあるように、市民生活に影響を来す事業については、より多くの市民の声を聴く必要があるのではないですか。また、なぜ2工区の工事開始前に市民の意見を聴こうとしないのですか。工事前にアンケートを取り市民の意見をしっかりと聴き、市民にとって公平で公正な行政運営を目指すよう、強く強く指摘します。

賛成 自由民主党

令和6年度一般会計決算額は、新設小学校建設事業などの大型事業が終了しているとはいえず、歳入で約895億1千万円、歳出で約863億4千万円という、大きな規模の決算となりました。歳入の柱である市税の収入で360億円、うち固定資産税で140億円を初めて超えました。本市の価値を高める政策を推進した結果であると評価します。大規模開発も終わりました。人口増加も緩やかになり、市税収入の伸びが期待できなくなる中、市債の長期金利が上昇傾向にある

ことから、財政調整積立金残高の積み増しなど将来に渡って安定した財政運営のため積立金と市債のバランスを検討するよう指摘します。民間でできることは民間で、業務委託・指定管理者制度を活用した市民サービスの提供は評価します。一方、その委託費の増加は避けられないことから、市民サービスを低下させないよう配慮しつつ適正な委託費となる工夫をするよう指摘します。今後もより良い市政の継続に向け職員一丸となり尽力されることを願います。

賛成 森田 洋一

市民アンバサダーの醸成とリピーター確保により、住み続ける価値のあるまちづくり推進が重点課題です。外国人観光客誘致と滞在型観光の推進は、伸び代が期待でき


ます。効果的な一手を打つのが難しい場合、トライアンドエラーも大切です。

路線バス増便、二次交通検討、イベントを観光に結び付けることも重要な施策です。先行き暗い前兆の日本で、たゆたえども沈まずの先導力で、本市が一筋の光明を見出し、次の予算につなげることを期待します。

会派に属さない議員

ご自身のスマートフォンやパソコンから
本会議・委員会中継がご覧いただけます

流山市議会では、本会議中継と、YouTubeを活用した委員会中継を行っています。(ともにライブ配信・オンデマンド(録画))
どうぞご利用ください。



「議会中継」ページへ移行します

市政に関する 一般質問

令和7年第3回定例会の一般質問には、20人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。

子どもの権利保障のための職員研修について
矢口 輝美



問 ①全ての市職員を対象にこどもの権利の理解を醸成する方策について問う。②こどもの声を聴く力や、意見を尊重するスキルを育む実践的研修の導入について問う。

答 子ども家庭部長 ①「流山市こども計画」の基本目標6、こどもの権利を守る仕組みづくりとして「流山市子ども子育て会議」の部会として、こどもの権利部会を設置しました。今年度、こどもの権利部会の活動の一つとして、こどもの権利の中でも重視されている

国・県からの照会業務などの急増について
流政会 近藤 みほ



問 本市において、日常的に多くのメールや文書により、国や県からの照会・調査や事務連絡を受け取っていると、その量は増加傾向にあるのか。そうした事務の負担増の実態と改善策について問う。

答 総合政策部長 国や県から市に届くメールは増加しており、月平均で令和5年度が3342件、令和6年度が4345件、令和7年度が8月末現在で6431件と、令和7年度8月末の時点で令和5年度比の約2倍となっ

議員が草稿を作成した記事において、特定の名詞の表記（「障害者」を「障がい者」と表記するなど）については、議員本人の意向を尊重して掲載しています。そのため、異なる表記が混在する場合があります。予めご了承ください。



流山市手話言語条例のさらなる施策充実を

流政会 青野 直

問 流山市手話言語条例が施行されてから、はや6年が経過した。市内病院をはじめ、社会福祉施設、介護施設、学校、商工会議所、自治会などの各種団体に積極的に情報提供し、手話の普及促進に努めてはどうか。

答 健康福祉部長 手話出前講座の周知については、市ホームページや広報などがやまでの掲載により実施していますが、引き続き機会を捉えて広く情報提供していきます。これらの活動は、全て流山市デフ協会と手話サー

クル連絡協議会との協働により実施されているものです。国では、手話に関する施策の推進に関する法律が施行され、手話に関する施策を総合的に策定・実施することが自治体の責務として明記されたことから、今後も流山市デフ協会と手話サークル連絡協議会のご協力をいただきながら、条例の周知や理解の促進を図っていきます。



若者の居場所づくりについて

公明党 野村 誠

問 市内2か所で「若者のための居場所」がオープンすると市ホームページで公表された。この事業は、孤立防止や交流促進の観点からも、大変重要な施策であると考え、開設するに至った経緯は。また、どのような目的、期待を込めているのか。

答 子ども家庭部長 令和5年度実施の流山市子ども・若者意識調査で、中高生に利用したい施設を尋ねたところ、友人と雑談や飲食ができるスペースがある、勉強、読書、パソコンなどができ

る、特に理由がなく過ごすことができるなどの回答が多数ありました。こうした声を受け止め、中高生や若者が気軽に立ち寄り、安心して自由に過ごすことができる居場所の提供が子ども・若者の成長を促すことにつながるものと考え、信頼できる他者との出会いや自分のペースでやりたいことに取り組む機会を提供し、自己肯定感向上につながる支援を行いながら、居場所を拠点に若者と共によりよい地域づくりを推進してまいります。



外国人観光ガイドを実施して 見えてきた課題

森田 洋一

問 フランス人をガイドしたが、ウェブ検索で近距離・短時間移動の表示でも、バスや電車の乗り換えで実際はさらに時間がかかり、タクシーがないこともある。市でも実態を把握し、観光冊子の情報を机上の空論にならないようにすべきでは。

答 経済振興部長 大阪・関西万博の出展の際には、本市職員にとって土地勘のない場所での移動であったため、ウェブで調べて会場まで移動しましたが、実際は電車乗り継ぎに時間がかかるなど、効

率の良い移動ができませんでした。議員ご指摘のとおり、経験に基づく情報が重要と再認識したところです。本市発行の「ことりっぷ流山本町」では、各駅から流山本町へのアクセスを所要時間とともに掲載していますが、これは本市職員や冊子制作会社が実際に確認したものです。また、電話やメールでの問い合わせには、出発地を伺った上で最適ルートを提案しています。引き続き、来訪者に分かりやすい情報を提供してまいります。



ミニバスケットボールのルール変更について

流政会 川本 大岳

問 ミニバスケットボールのルール変更が検討されています。主な変更点は、リングの高さ、使用ボール、スリーポイントライン導入の3点です。ルール変更について、どのような情報を把握していますか。

答 生涯学習部長 公益財団法人日本バスケット協会から正式にミニバスケットボールのルール変更は聞いておらず、県の動向を注視していきま

種団体からルール変更を行うとは聞いておらず、特に対応する予定はないとのことでした。また、県内他市の動向について、一般財団法人千葉県バスケットボール協会に確認したところ、今年度の県大会や関東大会は現行ルールで開催するとのことでした。引き続き、バスケットボール協会や県内他市の動向を注視してまいります。



住み続ける価値の高い まちづくりに向けて

流政会 渡辺 仁二

問 開発行為外住宅で既存のごみ集積所を利用しながらも、自治会に未加入でトラブルが多発している。市は不動産団体と協定し、売買契約時はこちらん、賃貸借契約時の重要事項説明書でも、自治会加入や集積所管理体制の説明を促すべきでは。

答 市民生活部長 条例に基づく事前協議対象事業では、事業者への自治会加入促進の周知依頼やごみ集積所に係る協議を

事業者の判断によるものとなります。結果として、居住場所の自治会やごみ集積所の管理といった居住地域の情報を、居住開始時まで知る機会がないケースもあると考えます。物件購入者や賃借人に対する、契約段階での自治会への加入促進や、地域の情報をあらかじめ周知することは非常に重要であり、トラブルを未然に防止するために有効な手法と考えることから、今後、不動産関連団体と協定を結ぶことを目指して、協議を進めてまいります。



小中学校体育館の断熱対策について

流政会 笠原 久恵

問 ①令和5年第三回定例会の一般質問で取り上げた小中学校の体育館の断熱について、二重サッシの提案などもしたが、その後の検討状況はどうか。②複層ガラスの効果はどうか。③体育館の断熱について、今後どのように進めていくのか。

答 教育総務部長 ①江戸川台小学校のリニューアル工事における体育館の全面改修工事の中で、断熱改修を実施しています。既存の屋根の上に断熱材を敷き込み、その上に新たな屋根をふくこと

で、断熱性能の向上を図っています。また、外壁は遮熱塗料による塗装改修を実施し、サッシはカービ工法によるアルミサッシへの更新と複層ガラスへの交換により、遮熱と断熱性能の向上を図っています。②複層ガラスへの交換により、熱貫流率の値が2・2倍程度向上するとされています。③今後実施するリニューアル工事において、各施設の状態を十分把握した上で、適切かつ効果的な断熱改修を進めてまいります。



里山壊す農地改良 残土搬入に規制を

阿部 治正

問 流山市みどりの基本計画の保全配慮地区に指定されている野々下地区において、農地一時転用許可を受け行われている造成工事は、農地改良・農作物の生産というよりも、建設残土の埋め立てである。市はどのように対応するのか。

答 農業委員会事務局長 農地の一時転用許可を受けた土地で造成工事などが行われ、その目的と実態との乖離が見られた場合の市の対応については、

まず目的と造成工事に乖離が見られた場合には修正を求めます。次に、許可後に申請内容と異なる点が見つかった場合は、申請ないし内容ごとの施工を行うよう指導します。なお、当初の計画を変更しても転用の目的を



子どもたちの多様な居場所について

流政会 小沢 えみり

問 ①夏休みや放課後のこどもの居場所について、学童クラブには預けられないが、預け先を必要とする家庭のニーズを市としてどの程度把握しているか。②民間の支援団体の持続可能な運営支援や保護者への補助を充実すべきと考えるが、どうか。

答 子ども家庭部長 ①流山市こども計画策定の際に学童クラブの利用に関するニーズ調査を行いました。ご指摘のようなニーズ調査は行っていません。②民間団体の支

援や保護者への補助については、こどもを預ける場所として対応している事業所などは他にも複数あることなどから、施策の優先度などの観点からも、現時点で子ども家庭部として補助を行う予定はありませんが、引き続き、広報活動のサポートや活動に有益な情報の提供など、独自性や自由度の高い民間団体の活動を、側面から支援してまいります。



一般質問通告一覧

1	矢口 輝美	1 個別避難計画と連動したユニバーサルデザインに配慮した避難所の整備について 2 教育・福祉現場におけるこどもの権利保障のための職員研修の実施について 3 学童クラブの定員超過と今後の放課後児童施策について 4 困難な問題を抱える女性への支援に関する実態把握と包括的支援体制の整備について
2	近藤 みほ	1 国・県からの照会業務などの急増について 2 ヒートアイランド対策について 3 教員の働き方改革を進めるため、組織全体で効率を高める取組について 4 教員不足対策について
3	青野 直	1 流山市手話言語の普及の促進に関する条例施行後の施策の推進について 2 第9期流山市高齢者支援計画について 3 流山市内における幼稚園・保育施設の現状と今後の取組姿勢について 4 流山本町の公共交通の充実について
4	野村 誠	1 食品ロス削減について 2 若者の居場所や子育て支援拠点づくりについて 3 南流山駅前の活性化に向けた支援について 4 本市の健康寿命を延ばす施策と予防医療の充実について
5	森田 洋一	1 猛暑の中で職務に従事している職員や市民の健康を守る取組について 2 市民の視点に立った発想の業務改善について 3 償却資産の申告に係る固定資産税について 4 観光ガイドを実施して見えてきた課題について
6	川本 大岳	1 ミニバスケットボールのルール変更について 2 特別支援学級生徒の進路指導について 3 流山市公式ホームページのリニューアルについて 4 南流山駅前のまちづくりについて
7	渡辺 仁二	1 住み続ける価値の高いまちづくりに向けた取組について 2 市民に寄り添った暑さ対策について
8	笠原 久恵	1 在宅療養における多職種連携のためのカナミックについて 2 消防行政について 3 小中学校体育館の断熱対策について 4 雑草対策について
9	阿部 治正	1 「住み続ける価値の高いまち」を実現させるまちづくりについて 2 野々下・古間木地区の「農地の一時転用許可」を受けた土地における造成工事について
10	小沢 えみり	1 こどもの休暇制度について 2 こどもの多様な居場所について 3 企業版ふるさと納税について
11	桑畑 伴子	1 乳幼児健診の拡充について 2 若者の薬物乱用防止の取り組みについて 3 全ての市民が投票しやすい環境整備について
12	おだぎりたかし	1 中部地域のまちづくりについて 2 行政組織の充実・強化について 3 公共施設の維持管理について
13	乾 えり	1 多様性を尊重する社会の推進について 2 平和施策について 3 教育行政について 4 買い物弱者対策について
14	高橋 あきら	1 公共事業の品質確保について 2 水道・下水道事業について 3 気候危機対策について 4 ジェンダー平等の推進について
15	植田 和子	1 生活保護行政について 2 清潔で安全・快適な生活環境の確保策について 3 教育行政について
16	鈴木 ゆうすけ	1 行財政改革審議会を経て策定された新たな3計画について、また行財政改革審議会のあり方について 2 教育委員会のいじめ対策と、市長部局側のいじめ対応体制の構築について
17	うた 桜子	1 生物多様性を尊重したまちづくりについて 2 ポストコロナ時代におけるコロナ時代の検証と今後の見通しについて 3 子宮頸がんワクチンについて
18	藤井 俊行	1 マンション街の灯り対策について 2 生活道路の安全対策について 3 こどもの居場所について 4 太陽光発電パネルのリサイクルについて
19	楠山 栄子	1 地域の文化財の保存と有効活用について 2 終活情報登録制度の導入について
20	清水 大	1 みどりの保全について 2 終活サポートについて 3 選挙について



乳幼児健診の拡充について

公明党 桑畑 伴子

問 1か月児健診は、産後間もない時期における母子の健康確認や育児支援の要であり、5歳児健診は、就学前の発達確認や生活習慣の形成支援、教育現場との連携を図る上でも重要な役割を果たす。1か月児健診や5歳児健診を導入すべきでは。

答 健康福祉部長 現在、1か月児健康診査は、出産した医療機関で実施する方が多く、市内の医療機関にとどまらず、県内、県外の多くの医療機関で実施され、市の公費負担による実施に当たっては、



福祉のさらなる増進へ 行政組織の充実を

日本共産党 おだぎりたかし

問 ①子ども家庭課虐待・DV防止対策室の職員配置や相談件数は設置時と比較しどう推移したか。

②課内室を課に昇格し、体制構築を図るべきでは。

③虐待DV防止だけではなく、国が求める「こども家庭センター」設置などの状況はどうか。

答 総合政策部長 ①職員の数は、令和2年4月1日時点の6名から令和7年4月1日時点では20名となり、予算規模は、6275万1千円増額しています。虐待を含む養護相談およびDVを含む



外国人差別をしないで

日本共産党 乾 えり

問 7月の参院選で外国人差別を助長しかねない言説が振りまかれた一方、7月24日の全国知事会で「排他主義・排外主義を否定し、多文化共生社会を目指す」とした青森宣言が採択された。市が推進する多様性を尊重する社会はどのようなものか。

答 市長 7月に行われた参議院選挙で、外国人問題が争点の一つとなっただことは承知しています。令和7年8月1日現在、市内には4421人、総人口の約2%の外国人が暮らしており、その人数



猛暑・渇水に対する 新たな農業振興策を

日本共産党 高橋 あきら

問 ①異常気象の下、今までどおりの農業ができないとの悲鳴は届いていないのか。米や野菜の被害に対策や支援が必要ではないか。

②県の高温対策緊急支援事業は4月で締め切られ、対象者も限られているが、市から再度要望すべきでは。

答 経済振興部長 ①今年度の市内の農産物の収穫見込みについては、とうかつ中央農業協同組合や生産者からはおおむね例年並みと聞いているところ。生産者は、高温対策として、野菜の種



熱中症から こどもたちを守れ

日本共産党 植田 和子

問 体育館で冷房をつけずに部活動が行われ、生徒が熱中症でダウンした事例がある。どのような状況になればエアコン稼働させるのか。熱中症警戒アラートが出た日の部活動は時間帯や時期をずらしたり、中止や延期の判断が必要ではないか。

答 学校教育部長 まず、前提として暑いと感じれば指導者がすぐつけるべきだというのが我々の考え方です。管理職への許可も不要のほうです。こどもの状態にもよりますが、指導者の感覚で暑い





いじめ防止授業の
より一層の充実へ
鈴木 ゆづすけ

問 ①いじめの類型化・分析は行っているのか。
②いじめを類型化・分析したデータを、児童生徒の発達段階の特徴と合わせ、いじめ防止授業に活かしてはどうか。③いじめ認知一覧表は、学年別に集計・類型化などしているのか。

答 学校教育部長 ①毎月、各学校から報告を受けているいじめ認知一覧表から、市内で発生しているいじめの状況を把握し、分析を行っています。今後は、分析を行った結果を、小学1年生から4年生および6年生の指導案に反映させ、さらなる充実を図っていきます。②さまざまなものを活かして、授業に反映させていきたいと思えます。③学年ごとに、件数や種類を分類しています。分析した結果や実態に応じた内容を、各学年の指導案に取り入れる工夫をしていきたいと思えます。



自然環境に配慮した
まちづくりについて
流山みらい うた 桜子

問 ①思井から芝崎にかけて地盤が緩く、雨水管工事が中断している。進捗と、埋め立てなどによる都市型水害への見解を問う。②生物多様性なれやま戦略の重点地区である野々下・古間木地域の保全に当たり、当局が提案する構想はあるか。

答 まちづくり推進部長 ①設計時の想定より地盤が軟弱であるため、改めて地質調査と対策を検討しています。現在、県と協議を行っており、令和8年度の工事再開を目指しています。湿地の埋め立てや盛土による浸水被害や道路冠水などの都市型水害については、想定を超えた雨量や地形など、さまざまな要因により発生すると考えています。環境部長 ②生物多様性なれやま戦略の中でモニタリング地域に位置付けており、土地の活用方法について市から提案をすることはありません。環境審議会でも、民有地であるため、その都度の状況に即した取り組みを検討するという評価になっており、現在それ以上のことは考えておりません。



マンション街の
灯り対策について
流山みらい 藤井 俊行

問 流山おおたかの森駅前センター地区では、マンションの高い外壁によって月明かりが遮られてくる。①まちづくりの観点からどのように考え対応していくのか。②明るさ不足について、地元住民や店舗、事業所にも意見を聴くべきではないか。

答 まちづくり推進部長 ①民地内の街灯設備に関する事前協議については、流山おおたかの森駅前センター地区まちなみづくり指針において、照明の色温度を暖色系に統一し、魅力的で落ち着いた色調を演出する。②地元自治会に確認し、要望があった場合には対応していきます。また、商業店などについては、店舗からの要望でなく、広く地域の意見として、地元自治会の合意を得て、要望いただく必要があると考えています。



歴史と文化財の
保護・活用について
楠山 栄子

問 ①本市の歴史遺産の野馬土手が年々減少している要因は何か。②松ヶ丘の野馬土手が原形をとどめ、他がつぶされているのはなぜか。③市民団体が大学と連携して野馬土手の保存活動をしている。官民学連携で野馬の文化を広げてはどうか。

答 生涯学習部長 ①野馬土手のほとんどが民有地のため、開発や相続で保存が難しい現状にあります。②民有地のため、その資産価値が優先されると、開発を認めない現状があります。松ヶ丘の野馬土手は、昭和60年に民間利用の計画が立ち上がり、破壊の危機にありました。その時に市民の皆さんが保存活動を始めたことで、計画が撤回されたことにより守られたと認識しています。また、県の特別緑地保全地区の指定により、造成などは県の許可が必要となったことにより守られ、今日に伝わっています。③さまざまな学識をお持ちの方や市民の皆さんの知恵を借り、どのような形で文化財保護や普及啓発ができるかを検討したいと思えます。



市民の森について
清水 大

問 ①市民の森は民有地であり、相続などで所有者が代わる可能性がある。所有者が代わっても継続して市民の森として維持する方針なのか。②地権者交代で借りられなくなった場合には、用地買収して何とかなし遂げたいという決意はあるか。

答 まちづくり推進部長 ①市民の森は所有者の協力のより市が借地して管理し、市民の散策などに供する重要な緑であるため、将来にわたり継続して維持する方針です。相続などの理由により、所有者が代わった場合には意向を伺い、借地の継続や市への売却などについて協議をしています。②財源確保などさまざまな課題はありますが、市としても恒久的に残していきたいと考えています。



議員提出の可決議案

令和7年第3回定例会において可決された議員提出の議案(発議)は、次のとおりです。

- ◆発議第13号◆ ガソリン税の暫定税率撤廃を求める意見書について
- ◆発議第15号◆ 建設労働者の雇用改善と担い手確保等に関する意見書について
- ◆発議第19号◆ 医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める意見書について
- ◆発議第20号◆ 国における2026年度教育予算拡充に関する意見書について
- ◆発議第21号◆ 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
- ◆発議第22号◆ 物価高騰等に見合った医療機関への支援を国へ求める意見書について

発議の内容については、
市議会ホームページをご覧ください。



X(旧Twitter)・Facebookで情報発信中

流山市議会では、X(旧Twitter)やFacebookで本会議や委員会のインターネット中継に関する情報発信を行っています。どうぞご利用ください。



X(旧Twitter)

アカウント名: nagareyamagikai



Facebook

アカウント名: Shigikai Nagareyama



おわびと訂正

令和7年8月15日発行の、流山市議会だより第192号2面に掲載した「つくばエクスプレス沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会の所管事項」に誤りがありました。正しくは「つくばエクスプレス事業及び沿線整備に関する調査・研究事項、新川耕地に関する調査・研究事項、常磐自動車道流山インターチェンジ周辺整備に関する調査・研究事項」でした。おわびして訂正します。

委員会の審査状況

本会議で委員会に付託された議案などの一部を紹介します。
なお、掲載する議案などは、各委員会の委員が選定しています。

もっと詳しく知りたい方はこちら

各常任委員会で審査した議案の議決結果や委員長報告の詳細は、市議会ホームページをご覧ください。



流山市議会 常任委員会審査概要・資料

検索

なぜ委員会で審査するの？

流山市議会では、議会に提出された「議案・請願・陳情」をそれぞれ担当の委員会に付託し、詳細な審査を行っています。各常任委員会の所管事項は、以下のとおりです。

委員会審査を含めた定例会の流れについては、『流山市議会だより第172号』の5面で詳しくご紹介しています。どうぞご覧ください。



『流山市議会だより第172号』はこちらからもご覧いただけます。

流山市議会だより第172号

検索

総務委員会

総合政策部・総務部・財政部・会計管理者・選挙管理委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項

議案5件、陳情2件を審査

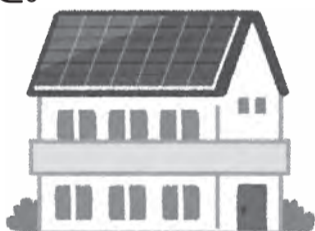
議案第60号「令和7年度流山市一般会計補正予算(第3号)」

歳入では、令和6年度決算の確定に伴い繰越金を追加するほか、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を追加するなどの補正を行い、歳出では、プレミアム付デジタル商品券事業に必要な経費、脱炭素重点対策事業の太陽光発電設備導入等に係る補助金など、所要の補正を行うもので、既定の歳入歳出予算総額に、それぞれ4億2,152万円を増額し、補正後の予算総額を867億8,902万円とするものです。(※)

5対1で可決すべきものと決定。

総務委員会に付託されたその他の案件

議案第61号～第63号、第79号、陳情第22号、第23号



教育福祉委員会

健康福祉部・子ども家庭部・教育委員会の所管に属する事項

議案4件、陳情6件を審査

陳情第14号「排泄に課題を抱える障害者(児)に対し、日常生活用具へ排泄予測支援機器の追加認定を求める陳情書」

尿意の意思表示ができない、もしくは曖昧にしか感じることができない障害者(児)の排尿課題を解決するため、排泄予測支援機器「DFree」を、市の障害福祉サービスの日常生活用具給付の対象として、追加認定することを求めるものです。

全会一致で採択すべきものと決定。

教育福祉委員会に付託されたその他の案件

議案第64号～第67号、陳情第15号、第16号、第19号～第21号



市民経済委員会

市民生活部・経済振興部・環境部・農業委員会の所管に属する事項

議案4件、陳情2件を審査

陳情第17号「野々下で進行中の休耕田の埋立に関わる農地転用を許可しないように求める陳情書」

野々下で進行中の休耕田の埋立に関して、①第1期工事の農地転用の許可を取り消して原状回復を求めること、②第2期工事の農地転用の許可を取り消して工事の進行を止めさせること、③第3期工事以降の申請について農地転用の許可を与えないようにすること、④これら①～③の判断について、事実上同じ業者が行った野田市目吹・木野崎における、地権者を欺き結果的に農地法違反であったといえる農地造成工事を、見て見ぬふりせず、厳正に審査すること、⑤今後農地転用の審査に当たっては、地面の高さ以上の埋立を認めないようにすることの5点を求めるものです。

本会期中の継続審査を経て0対5で不採択すべきものと決定。

市民経済委員会に付託されたその他の案件

議案第68号～第71号、陳情第18号

都市建設委員会

まちづくり推進部・土木部・消防・上下水道局の所管に属する事項

議案5件を審査

議案第76号「令和6年度流山市下水道事業会計決算認定について」

収益的収支では営業収支で7億8,026万1千円のマイナスとなりましたが、営業外収支で8億8,940万1千円の利益が生じたことから、1億7,103万9千円の利益を計上することができました。一方、資本的収支では、江戸川左岸および手賀沼流域の下水道整備や、運動公園周辺地区の汚水管および雨水管整備などを行った結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額15億2,574万6千円が生じましたが、この不足額は損益勘定留保資金などで補填したものです。(※)

5対1で認定すべきものと決定。

都市建設委員会に付託されたその他の案件

議案第72号～第75号



令和7年流山市議会第3回定例会

議員別表決結果一覧

出席議員全員が賛成(全会一致)した議案、陳情、発議			
議案	第62号 流山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	第69号 令和7年度流山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
	第63号 工事請負契約の締結について【流山市立おおぐろの森小学校校舎増築等工事(建築工事)】	第72号 令和7年度流山市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	
	第64号 令和7年度流山市介護保険特別会計補正予算(第1号)	第73号 令和7年度流山市水道事業会計補正予算(第1号)	
	第67号 専決処分の承認を求めることについて【保育所等入所承諾通知書誤送付に係る和解】	第79号 流山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	
	第68号 令和7年度流山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		
陳情	第14号 排泄に課題を抱える障害者(児)に対し、日常生活用具へ排泄予測支援機器の追加認定を求める陳情書	第16号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書	
	第15号 「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書		
発議	第19号 医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める意見書について	第21号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	
	第20号 国における2026年度教育予算拡充に関する意見書について		

議案	陳情	発議	賛否が分かれるなどした 議案、陳情、発議	審議結果	流政会										公明党		日本共産党		流山みらい		自由民主党		その他						
					小沢	川本	渡辺	近藤	坂巻	笠原	青野	石原	桑畑	岡	戸辺	野村	乾	高橋	植田	おだぎり	うた	西尾	中村	藤井	中川	海老原	鈴木	清水	矢口
第60号	令和7年度流山市一般会計補正予算(第3号)	○可決		○																									
第61号	流山市職員旅費に関する条例の全部を改正する条例の制定について	○可決		○																									
第65号	令和6年度流山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○認定		○																									
第66号	流山市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○可決		○																									
第70号	令和6年度流山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○認定		○																									
第71号	令和6年度流山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○認定		○																									
第74号	令和6年度流山市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○認定		○																									
第75号	令和6年度流山市水道事業会計決算認定について	○認定		○																									
第76号	令和6年度流山市下水道事業会計決算認定について	○認定		○																									
第77号	令和6年度流山市一般会計歳入歳出決算認定について	○認定		○																									
第78号	教育委員会委員の任命について【羽中田 彩記子】	○同意		○																									
第17号	野々下で進行中の休耕田の埋立に関わる農地転用を許可しないように求める陳情書	×不採択	×																										
第18号	マイナ保険証の保有の有無にかかわらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書の発行を求める陳情書	×不採択	×																										
第19号	物価高騰等に見合った医療機関への支援を国へ求める意見書の提出を求める陳情書	○採択		○																									
第20号	医療機関の事業と経営維持のための診療報酬再改定を国に求める意見書の提出を求める陳情書	×不採択	×																										
第21号	委託先事業者(及び再委託先事業者)に対し業務完了の確認を徹底させ、1円まで活かす市政をより忠実に実践する事を求める陳情書	×不採択	×																										
第22号	委託先事業者(及び再委託先事業者)に対し業務完了の確認と報告を徹底させ、1円まで活かす市政をより忠実に実践する事を求める陳情書	×不採択	×																										
第23号	2025年7月執行参議院議員選挙における選挙公報(千葉県選挙区・全国比例)折込業務委託の実態を正確に認識し、今後の手配において1円まで活かす市政を忠実に実践する事を求める陳情書	×不採択	×																										
第13号	ガソリン税の暫定税率撤廃を求める意見書について	○可決		○																									
第14号	バス運転手の不足の解消に関する意見書について	×否決		×																									
第15号	建設労働者の雇用改善と担い手確保等に関する意見書について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	次世代研究者挑戦的研究プログラムの充実・強化を求める意見書について	×否決		×																									
第17号	生活保護制度における違法な基準引き下げの是正等を求める意見書について	×否決		×																									
第18号	政党助成金制度の廃止を求める意見書について	×否決	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第22号	物価高騰等に見合った医療機関への支援を国へ求める意見書について	○可決		○																									

※表の見方 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 -:棄権
※議案名に続く【 】内は、補足として記載しています。
個人名の記載がある場合は、敬称略で記載しています。
※可決した意見書は、関係省庁に提出しました。

※議長のため表決に加わっていません。
※その他 ○欠席した議員がいた場合→出席議員全員が一致したものは「全会一致(上表)」
→賛否が分かれたものは「賛否が分かれた(下表)」、表示は【欠】
○退席した議員がいた場合→審議結果にかかわらず全て「賛否が分かれた(下表)」、表示は【-】

議会広報広聴特別委員会

委員 桑畑 友子
委員 阿部 洋一
委員 森田 治正
委員 楠山 栄子
委員 鈴木 大
委員 清水 大
委員 矢口 輝美
委員 森田 洋一
委員 阿部 治正
委員 楠山 栄子

副委員長 桑畑 友子
委員長 阿部 洋一

「市議会だより」作りを取り組んでいます。皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

議会の窓

近年、「誰一人取り残さない」と称し、デジタル化が加速しています。しかし、急速なデジタル化により、多くの高齢者の方々を取り残しているのではないかと疑問に思うことがあります。時短や便利さの代償に、「人と人」として「人と自然」とのつながりが、忘れられつつあるのかもしれない。ある海外からの来訪者が、「日本の美しさは、伝統文化と四季折々の自然」

然に、未来の最新技術がうまく調和しているところにある」と語り、改めて日本の魅力を実感させられたことがあります。流山市では、人口増加に伴う都市開発と自然保護の両立が課題ですが、文化や自然環境を大切にしつつ、最新技術も融合できるような本当の意味での「誰一人取り残さないまち」となるよう、議会でも議論を深めてまいります。

うた 桜子

次回定例会のお知らせ

令和7年第4回定例会は、次の会期日程(案)のとおり開催される予定です。

日	期	会期	時間
11月27日(木)	本会議	午後1時開議	
12月2日(火)	本会議(一般質問)	午前10時開議	
3日(水)	〃	〃	
4日(木)	〃	〃	
5日(金)	〃	〃	
8日(月)	教育福祉委員会	午前10時開議	
9日(火)	市民経済委員会	午前10時開議	
10日(水)	都市建設委員会	午前10時開議	
11日(木)	総務委員会	午前10時開議	
17日(水)	本会議	午後1時開議	

※議会日程は急ぎ変更になる場合があります。最新の日程は、市議会ホームページをご覧になるか、議会事務局にお問い合わせください。